

事業番号	04 08 02	事業改善シート(令和4年度実施事業分)			□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検		
事業名	子ども・若者育成支援事業	部局	県民文化部 子ども若者局	課・室	次世代サポート課		
		実施期間	S28 ~	E-mail	jisedai@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	⑤2025年に県民希望出生率1.84を実現						
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進 5-5 子ども・若者が夢を持てる社会づくり						

1 現状と課題

目指す姿	長野県の全ての子ども・若者が健やかに育つことができ、また支援を必要とする子ども・若者を支えることができる社会の実現を目指す。	
これまでの取組	長野県将来世代応援県民会議への補助、信州子どもカフェへの支援、子ども・若者支援地域協議会の運営、発達障がい者サポーター養成講座の開催、通信制高校と提携する教育施設を利用する住民税非課税世帯の生徒への利用料助成など。	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ・困難を有する子ども・若者に対する支援について、支援機関同士の連携は進んでいるものの、就学時や学齢期の終了時といった移行期の支援の引継ぎについてはまだ不十分。 ・信州子どもカフェは県下133か所(令和3年1月時点)となり、昨年より増加したが、身近な地域の居場所としてはまだ不足している。 ・食材費や弁当容器等の値上がりが続いているが、信州子どもカフェでは、食材費や資材の値上げを転嫁することができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい者支援対策協議会等での検討を通して、困難を有する子ども・若者のライフステージを通じた切れ目のない一貫した支援体制整備を推進する。 ・信州子どもカフェの運営支援や担い手の育成等を通じて信州子どもカフェの設置を推進する。 ・物価の高騰により食費等の値上げが進む中、信州子どもカフェの運営を支援するため、運営費補助事業に対する助成を拡充する。

2 令和4年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組(予定)	<input checked="" type="checkbox"/> 信州子どもカフェ運営支援事業 ・物価の高騰により食品や日用品等の値上げが進む中、地域に食事や繋がりの場を提供する「信州子どもカフェ」の運営を支援するため、県社会福祉協議会が行う運営費補助事業に対する助成を拡充する。
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	【DX】困難を有する子ども・若者支援事業について、遠方からの相談にも対応できるオンライン相談や、時間の制約なく相談が可能なメール相談の実施 【ゼロカーボン】発達障がい者支援事業について、会議の開催方法を参集型からオンラインに変更することで、移動に伴う二酸化炭素排出量を削減 【共生社会づくり】子どもの居場所づくり推進事業について、子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できる居場所を提供 【学びの県づくり】貧困対策等の子ども支援について、様々な背景を抱えた生徒が経済的な理由により学習の機会を奪われないよう支援

No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R4年度目標値
1	地域における子どもの性被害防止のための研修会等の参加人数	人	13,063	7,532	↓	-	-	13,000
2	「信州子どもカフェ」への補助箇所数	箇所	41	62	↑	-	-	85
3	子ども・若者支援地域協議会における要支援者の支援完了及び継続者の割合	%	86	90	→	-	-	90
4	発達障がい者サポーター養成講座の受講者数	人	14,883	15,485	↑	-	-	18,000
5								

事業コスト	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	前年度繰越			
当初予算	179,482	183,563	173,983	
補正予算	-4,532	536,458	2,805	
合計(A)	174,950	720,021	176,788	
うち一般財源	114,367	98,560	92,980	
決算額(B)	148,345			
職員数(人)	10.0	10.0	10.0	

設定理由	成果指標	1.地域において自主的に開催される性教育、人権教育、青少年のインターネット適正利用の学びの場への参加者数を増やし、子どもの性被害等を防止する。 2.「信州子どもカフェ」への支援状況を評価するため、補助箇所数を目標値としている。 3.協議会の運営を通して要支援者が適切な支援につながることを目的とするため、要支援者の支援完了及び継続の割合を目標値としている。 4.地域における発達障がい者理解の向上の取り組みを評価するため、「発達障がい者サポーター養成講座」の受講者数を目標値としている。
	目標値	1.新型コロナウイルス感染症によって開催数が減少する以前の参加者数と同程度とするため、13,000人を目標とする。 2.最大補助箇所数である令和3年度と同程度の85か所を目標とする。 3.転居等のやむを得ない理由により支援が途切れる場合を見込み、90%を目標とする。 4.長野県子ども・若者支援総合計画において、2022年度(R4年度)までに20,000人の受講を目標としているが、新型コロナウイルス感染症により開催数が減少していることから、1割減の18,000人を目標とする。

事業番号	04 08 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	子ども・若者育成支援事業			部局	県民文化部子ども若者局	課・室	次世代サポート課

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
1	青少年の健全育成事業	21,583 千円	551,675 千円	当初 25,386 補正 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	長野県将来世代応援県民会議(青少年育成事業)補助事業	補助金	青少年健全育成運動を行う長野県将来世代応援県民会議に対し、補助金(青少年サポーター設置事業、子どもの性被害予防のための取組支援事業、青少年インターネット適正利用推進協議会事業など、子どもの性被害予防関係事業、青少年健全育成大会を含む)の交付を行う。 補助金交付先:長野県将来世代応援県民会議	
2	チャイルドライン支援事業	補助金	18歳までの子どもがかかる相談電話「チャイルドライン」の活動を支援することで、県内の子どもたちの声に寄り添える体制の強化を図る。 補助金交付先:長野県チャイルドライン推進協議会	
3	青少年問題協議会開催事業	直接	子ども・若者支援に関する総合的な計画及び子どもを性被害から守るための取組について審議する。	
4	健全な社会環境づくり事業	直接	子ども・若者育成支援推進本部による県民運動の推進や、子どもを性被害から守るための啓発物品を作成し、周知啓発を行う。	
5	「信州学生協会・信濃寮」大学修学等支援奨学金(仮称)広報事業	委託	大学進学予定の生徒及び保護者に対して、新たに創設する奨学金制度の周知・広報を行う。	

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
2	子どもの居場所づくり推進事業	5,200 千円	33,170 千円	当初 12,430 補正 <u>2,805</u> 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	信州子どもカフェの推進	直接 補助金	<ul style="list-style-type: none"> 信州子どもカフェの運営費を支援する。(物価高による食材費、弁当容器のかかり増し経費を上乗せ) 信州子どもカフェ開催頻度向上等に向けた研修会を開催する。 	

事業番号	04 08 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	子ども・若者育成支援事業		部局	県民文化部子ども若者局	課・室	次世代サポート課

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算	
3	困難を有する子ども・若者支援事業	69,710 千円	58,602 千円	当初 61,964 補正 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	子ども・若者支援地域協議会事業	委託	社会生活上の困難を有する子ども・若者への支援を円滑に行うために、子ども・若者育成支援推進法に基づく地域協議会を運営を行う。		
2	困難を有する子ども・若者の専門的な自立支援の場応援事業	補助金	社会生活上の困難を有する子ども・若者に対して専門的な自立支援の場を提供する団体を助成することで、県内の子ども・若者支援体制の強化を図る。		
3	発達障がいのある子ども・若者の教育相談支援事業	委託	発達障がいなど認知特性に偏りが見られる児童生徒を対象とした教育相談の支援を行う。		
4	通信制高校サポート校等就学支援事業	補助金	通信制高校と連携する教育施設へ通う非課税世帯の学生への支援を行う。		
5	不登校児童生徒の学校以外の「まなびの場」支援事業	補助金	学校以外の「まなびの場」における専門的人材の活用等を支援することで、不登校児童生徒のまなびの充実を図る。		
6	ヤングケアラー実態調査・研修推進事業	直接委託	県内の小学校、中学校、大学の児童、学生及び関係機関を対象としたアンケート調査を実施するとともに、教育、福祉分野の関係者を対象とした研修を行う。		

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算	
4	発達障がい者支援事業	78,457 千円	76,574 千円	当初 74,203 補正 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	発達障がい者支援センター事業	直接	発達障がいサポート・マネージャーや発達障がいペアレント・メンターの養成研修に加え支援者向けの各種研修の開催等を行う。		
2	長野県発達障がいサポート・マネージャー配置事業	委託	10圏域に発達障がいサポート・マネージャーを配置し、一貫した支援を提供する。		
3	市町村発達障がい者支援体制強化事業	委託	10圏域12名の市町村サポート・コーチが、年代や分野を超えて支援者が情報を共有するツールの普及を図る。		